



東京農業大学稲花小学校

学校だより 4 月号 【4月30日(水)】

2025 年 完成年度から次の一步へ

本年度から夏秋初代校長に替わり着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。校長が替わりましても、教育理念「冒険心の育成」や教育方針「3つの心と2つの力」などに基づく農大稲花小らしい学びの根幹は変わることはありませんので、ご安心ください。

昨年度に完成年度に達し、4月には第7期新入生を迎えた今、次のステージに向けた新たな試みとして、今年度から校長・副校長及び総務部主任・学務部主任制度を導入いたしました。また、これまでの学年団に加えて主任による複数学年担当や中学年以上の教科横断担当制度も導入し、子どもたちの見守り体制をより手厚いものとしたしました。教育指針「10の能力」については、今年度から生活面などにおいても活用し、非認知能力をさらに伸ばす仕組み作りも進めてまいります。子どもたちの生きる力を育てるために、保護者の皆様のご協力をいただきながら、農大稲花小ならではの学びを深めて参りたいと思っております。

「生活のめあて」と「10の能力」

今年度の「生活のめあて」を、お知らせします。学校生活において「生活のめあて」を意識することで、子どもたちは自身の生活や行動について考え、よりよく生活できるようになります。また、生活習慣の確立や規範意識の醸成、そして社会性や協調性が身に付くことも期待できます。

各月の「生活のめあて」は、本校の教育指針「10の能力」と結びつけて設定しました。これまで「10の能力」は「学校生活の大半を占める授業を通して獲得する」としていましたが、完成年度を経て、学習の場面に限らず、生活においても身に付けたり発揮したりすることで、より確実なものとなると考えています。例えば「傾聴力」。授業中、「話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞く」ことは、とても大切ですが、友だちの考えや言い分を受け止めることは、なかよく協力して集団生活を送るためにも必要な力です。そして、この力はやがて社会で活躍するときにも、必ず役に立つことでしょう。「生活のめあて」と結びつけることで「10の能力」をさらに意図的・計画的に育んでいきたいと思います。

今年度は「あいさつ」に指導の重点を置いているため、各学期に「すすんであいさつをしよう」のめあてを設定しています。「生活のめあて」は、ご家庭でも取り組んでいただけることがあるかもしれません。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

月	めあて・指導の重点	10の能力
4・5月	すすんであいさつをしよう 1・2年 元気にきもちよく 3・4年 相手の目を見て 5・6年 相手の目を見て 自分から	発信力
	【指導の重点】 学級で 学校全体で	

月	めあて・指導の重点		10 の能力
6 月	きまりを守ろう きまりの確認：靴の置き方・傘立ての使い方 安全な生活：登下校のルールやマナー・ろうかの歩き方		自 律 力
	【指導の重点】	バス・電車内の過ごし方	
7 月	よい聞き手・よい話し手になろう よい聞き手：正しい姿勢で・話をしている人を見て・うなずく・など よい話し手：正しく話す・相手を意識して 言葉づかい：時と場合・相手に応じた言葉で		発 信 力 傾 聴 力
	【指導の重点】	授業で 生活全般を通して 国語の学習とも関連させて	
9 月	すすんであいさつをしよう 1・2 年 元気にきもちよく 3・4 年 相手の目を見て 5・6 年 相手の目を見て 自分から		発 信 力
	【指導の重点】	来客・警備の方・先生方など、誰にでも 食事の前後・授業のはじめと終わりのあいさつ 気持ちをつなぐことば ありがとう・ごめんね	
10 月	時間を守ろう 授業時間 休み時間 提出物のしめきり		自 律 力 主 体 性
	【指導の重点】	時間を見て行動する・やくそくの時間を守る	
11・12 月	言葉づかいを考えよう 相手の気持ちを考えた言葉づかい		発 信 力 傾 聴 力
	【指導の重点】	先生やおとなに対して(礼儀)・友だちの気持ちを考えて	

月	めあて・指導の重点		10の能力
1月	すすんであいさつをしよう 1・2年 元気にきもちよく 3・4年 相手の目を見て 5・6年 相手の目を見て 自分から		発信力
	【指導の重点】	あいさつがしっかりとできているかふりかえる 元気に・気持ちよく・相手の目を見て・自分から	
2・3月	1年間のまとめをしよう あいさつ，きまり，登下校のルール・マナー，よい聞き手・よい話し手， 時間をまもる，相手の気持ちを考える，言葉づかい など		自律力 問題設定力
	【指導の重点】	1年間の生活のめあてを確かめて，1年間のまとめをする	

東京農業大学稲花小学校
校長 杉原 たまえ